



学校だより

No. 3 さいたま市立神田小学校

令和5年 6月 1日発行 TEL (853) 4377
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を
たくましく生きる神田の子
・かしこく・たくましく・あたたかく

ことばは 生き続ける

校長 米玉利 優子

「去年の運動会の朝、校庭の水とりを手伝ってくれたお父さんを思い出すね。」「今年は、人数制限もないし、特等席で見てほしいね。」教員が運動会準備をしながら話していました。1年過ぎても、あの日の感動が、私だけでなく教職員にもしっかりと残っているのだと胸が熱くなりました。5月27日に開催した運動会は暑い日になりましたが、多くの保護者の皆様、地域の皆様に応援していただきました。見に来てくださった方々に、自分たちが全力で頑張る姿を見てもらい、いつもありがとうの心を伝えたい…子どもたちの願いは、皆様に届いたでしょうか。

「あの子としゃべった人は全員、無視するからね。」いつも一緒に帰っている仲間の1人を無視しなくなって…なんで？呼び出された階段で時間が止まり、蝉の声だけが大きく聞こえた中2の夏。今も鮮明に覚えています。少し怖かったけれど「あの子」と普通に話した次の日から、私に待っていたのは嫌がらせ。すれ違おうと「死ね」「消えろ」「あいつと仲良しなんて頭おかしいよね」様々な言葉が降りかかってきました。何が正しくて、どう行動するのが良いのかわからなくなっていた私は、あの子を無視した方が良かったのかなと涙したこともありました。そんな私にあの子はいつも「ごめんね。」と言い続けていました。それを聞いたたびに、ごめんねじゃない。私達は間違えていないと強く思いました。もちろん、両親や兄が「あなたは正しい！」「さすが俺の妹だ！」と夕食中に自分の行動を価値づけてくれたから、心が強くなれたのだと思います。「あの子」が宿題の答えを見せてくれなかった。そんな小さなことから始まった嫌がらせは、担任の先生に相談できたことで解決しました。でも、あの時の冷たい言葉も、屋上に続く階段に呼び出されたあの景色も…何十年経った今も鮮明に覚えているのです。そして今は、あの時の自分によく頑張ったねと言える幸せも感じています。

言葉は心の中で生き続けます。昨年「ただ、今日、運動会がやればいいなと思っただけですから。」と言い、泥だらけになって校庭の水をとってくださった保護者の言葉や行動が、神田小学校の教職員の中で生き続けるように…だからこそ、自分の想いを豊かな言葉で伝えられる、人の心をあたたかくするような言葉の使い手を育てていくことが、私たち大人の大切な役割であると確信します。

今月はいじめ撲滅月間です。いじめをなくす学校にしようと朝会で呼びかけると、6月1日現在、153人の子どもたちが標語を考え、提出してくれました。

2年：「おともだち たすけてみんな いいきもち」	「いじめなし みんなニコニコ じんでっこ」
4年：「ふわふわ言葉 友達言うといい気もち」	「注意した 君の心は 正しいよ」
6年：「大丈夫 言葉のチョイス 考えて」	「私がね 嫌がってるのに 笑ってる」
「SNS それ見て誰かが SOS」	「関係ない それで終わりに しないでよ」

その他にも豊かな言葉にあふれた標語がたくさんあります。提出してくれた作品は校長室前に掲示しますので、個人面談等で来校なされた際に、是非、御覧ください。

保護者の皆様、並びに地域の皆様には、今月も子どもたちの心に生き続ける、あたたかい言葉かけと変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。